

“あなたのお墓をどうしますか？”

いつかは分かりませんがあまり遠くない時に、「彼岸からの使者」を迎えることになる人生のベテラン達=WG メンバーを対象として、「終活」に関するテーマの講演会を実施しました。WG では死をめぐるテーマの講演会をすでに 2 回実施しています。第 1 回は「おひとりさま」になった時の心構え・事前準備・法的問題など、第 2 回は最近の「葬儀」のスタイルとその長所・短所・費用、その他の注意点などについての解説をお聴きしました。



講師 三國 浩晃

3 回目の今回は「多様化する遺骨の落ち着き場所=お墓あるいは？」、それぞれの長所・短所などについて、概ね以下のようなお話がありました。

① 誰が墓守 (=お墓の使用者) をするのか

お墓を巡る検討の際、最も優先・重要なことはお墓を守る人が決まっているか否かです。それによって、以降の検討内容が大きく異なります。

② 「改葬」するには交渉の手間と費用が大変

改葬許可申請手続き、改葬料、墓地を更地にする費用など、お寺との交渉と多額の費用が必要。

③ 多様な「お墓の形態」の特徴と長短

一戸建て型 (旧来の石塔)、マンション型 (納骨堂)、合祀墓 (合葬墓)、樹木葬、散骨 など

④ 戒名 (法号、法名) とは

「信士、信女」、「居士、大姉」、「〇〇院」付き、「〇〇院殿」付き 費用が 大きく異なる

⑤ その他、葬儀にまつわる話題



今回は多くのメンバーから質問・疑問・確認事項などが続出し、講師からもこんなに積極的な発言があった講演会は初めてだとの感想を頂きました。皆さん有難うございました。今後は一般会員も対象とした企画を検討したいと思いました。